



にこにこ きらきら ゆめにむかって

学校報
第44号

おともがわ

みんなで育む 豊かな心・健やかな体・確かな学力

令和5年度
大仙市立内小友小学校
令和6年2月22日

2月15日
大仙ふるさと博士
教育長表彰

伊藤教育長から認定書の授与

先週2月15日(木)、本市教育委員会の〇〇〇〇教育長が来校し、校長室で「大仙ふるさと博士」の表彰が行われました。

本市教育委員会では、子どもたちのふるさとを愛する心を育て、地域の将来を担う人材の育成を目指すことを目的に、小学校3年生から中学校3年生までを対象として「大仙ふるさと博士育成」事業に取り組んでいます。この事業はポイント制になっており、地域行事への参加や、企業・施設等での見学・体験など地域と関わる活動をする事で、見学や説明を聞いた場合は1ポイント、体験活動を行った場合は2ポイント、運営のお手伝いなど貢献するような活動を行った場合は3ポイントです。そして、獲得したポイントに応じて10ポイントで初級、30ポイントで中級、60ポイントで上級、100ポイントで名誉博士に認定されます。今回は60ポイントを獲得した6年生12名が上級の認定を受けました。



なお、100ポイントを獲得すると、直接市長から「名誉博士」の認定書の授与があります。今後、中学校へ進んでからも地域との関わりをさらに深め、「名誉博士」を目指してほしいと思います。

スーパイン! 内小っ子

子ども読書通帳表彰
(令和6年1月31日付け)

おめでとうございます!

- 【四百冊賞】 〇〇〇〇〇さん (6年)
- 〇〇〇〇〇さん (2年)
- 【二百冊賞】 〇〇〇〇〇さん (1年)
- 【百冊賞】 〇〇〇〇〇さん (3年)
- 〇〇〇〇〇さん (2年)
- 【五十冊賞】 〇〇〇〇〇さん (1年)
- 〇〇〇〇〇さん (1年)

2月21日

園小交流学習

もうすぐ仲間入り

昨日21日(水)の3時間目に、1年生の子どもたちが内小友保育園の年長さんと交流学習を行いました。「小学校の学習紹介」や「読み聞かせ」、「学校クイズ」など、年長さんたちが楽しめる企画をたくさん準備してくれました。



1年生の子どもたちが年長さんに優しく教えている姿がとても印象的で、この1年間で大きく成長したことを実感しました。

写真省略

自分たちのランドセルを年長さんたちに背負わせて、一足早い1年生気分を味わわせたり、一緒に学校探検をしたりと、1時間という短い時間でしたが、とても楽しい時間を過ごしました。

写真省略

ひな人形を飾りました

本校では、今月初旬から印刷室前の廊下に七段飾りの立派なひな人形を飾りました。ひな人形の周りは、一足早い春の匂いを感じる空間になっています。

本校のひな人形は、昭和51年2月に購入されたもので、内小出身の保護者の皆様も、このひな人形を小学生時代にご覧になったのではないかと思います。購入してから48年。今も大切に飾っております。



令和5年度新体カテストの結果について

このテストは、文部科学省の実施要項に基づいて毎年全学年で実施しているもので、次の8種目を行いました。

- 握力
- 上体起こし
- 長座体前屈
- 反復横とび
- シャトルラン
- 50m走
- 立ち幅とび
- ソフトボール投げ



反復横とび



上体起こし



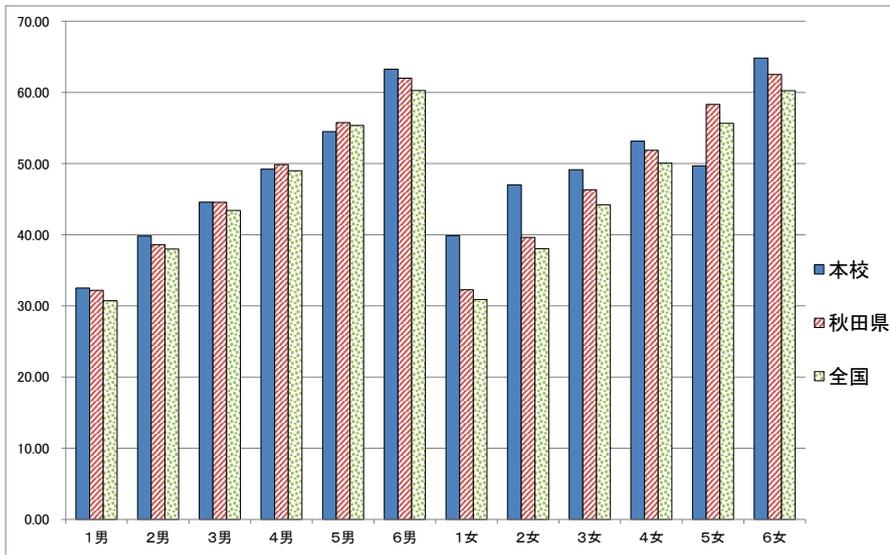
長座体前屈



立ち幅とび

体力合計点について

今回のテストでは、種目ごとの記録によって10点満点で採点し、それらを合計した「体力合計点（80点満点）」も公表されています。



【10点に該当する記録】

<男子>

- 握力: 26kg以上
- 上体起こし: 26回以上
- 長座体前屈: 49cm以上
- 反復横とび: 50点以上
- シャトルラン: 80回以上
- 50m走: 8.0秒以下
- 立ち幅とび: 192cm以上
- ソフトボール投げ: 40m以上

<女子>

- 握力: 25kg以上
- 上体起こし: 23回以上
- 長座体前屈: 52cm以上
- 反復横とび: 47点以上
- シャトルラン: 64回以上
- 50m走: 8.3秒以下
- 立ち幅とび: 181cm以上
- ソフトボール投げ: 25m以上

各学年の項目毎の傾向について

県平均と比較した項目毎の傾向は次のようになっています。

性別 学年	男子		女子	
	優れている種目	苦手としている種目	優れている種目	苦手としている種目
1年生	長座体前屈	上体起こし	反復横とび	立ち幅とび
2年生	シャトルラン	長座体前屈	握力	50m走
3年生	ソフトボール投げ	立ち幅とび	ソフトボール投げ	立ち幅とび
4年生	握力	立ち幅とび	ソフトボール投げ	長座体前屈
5年生	握力	長座体前屈	反復横とび	上体起こし
6年生	ソフトボール投げ	シャトルラン	ソフトボール投げ	シャトルラン

体力の向上については、引き続き、学校としてさらに力を入れていく必要があると考えています。今後、体育の授業等を通して、子どもたちが運動やスポーツへの関心をさらに高め、学校の内外を問わず、運動に親しむ機会を増やしていきたいと思っております。